

柿 生 文 化

柿生郷土史料館 情報・研究誌
 住所: 川崎市麻生区上麻生 6-40-1
 柿生中学校内
 電話: 044-988-0004(柿生中学校)
<http://www.kakio-kyodo.com>
 第67号

方言は文化(1)

川崎にも方言がたくさんあった!

~~「ダベー」言葉との出会いから~~

田舎から首都圏に移り、仕事も川崎で、以来約40数年となりました。当初、東京の隣、川崎では標準語が話され、一方の筆者は田舎の方言丸出しで、恥ずかしいことだと思っていました。ところがある時、川崎生まれの同僚が『〇〇ダベー』言葉で会話していませんか。その時は「あー都会の人は方言に慣れて、わざと使っているのか」などと勝手に解釈していました。これが川崎の方言なのかと分かったのは、ずっと後日のことでした。

昭和60年と63年に発行された「川崎市民俗文化財調査報告書」には川崎市の方言について詳細な調査報告が掲載されています。川崎市各区にお住まいの明治から大正生まれの男性53名を調査対象にした報告書です。(麻生区は、早野・王禅寺・上麻生・金程・細山・岡上・栗木・黒川から10名が調査対象で、明治生まれが8名、大正生まれが2名)

現在、この報告書が刊行されて約四半世紀も経過していますので、言葉自体が消失していることもあるかもしれませんが、麻生区で聞かれた方言を一部紹介してみましょう。

ことば	標準語	方言	備考
一人	ひとり	シトリ	川崎市では「ひ」を「シ」と発音することが多い。麻生区は少ない。
月	つき	ノノサマ	子供・幼児に対して言うことが多い。
引き裂く	ひきさく	ヒツツアバク	川崎北部に多い。南部は「ヒツツアク」が多い。
灰	はい	ヘー	麻生区は「ハイ」と共存する機会が多い。川崎区は「ヘー」が一般的。
寒い	さむい	ヒヤッコイ	川崎南部では「シャッコイ」と共に気温にも使用する。
馬	うま	ンマ	川崎市全体で使用している。
鶏	にわとり	ニワツトリ	「板きれ」を「イタツキレ」、「裸足」を「スツパダシ」等と同類。
土	つち	ドロ	「つち」「ドロ」双方の使用が多い。川崎市では「ドロ」が土の意味で広くつかわれる。
眉	まゆ	マミヤ	昔よく使われた。現在は川崎市全体的に、「マユゲ」との回答が多数。
裸足	はだし	スツパダシ	「すあし」の使用も多い。
百	ひゃく	イソク	川崎市内で広く使われた。(例)200 はニソク、150 はイソクゴジュー
言った	いった	ユッタ	川崎市全体でよく使用される。
入った	はいった	ヘーツタ	南部では「ヘツタ」もある。(例)風呂にヘーツタカー
…ベイ	…しよう	ベー	川崎市全体でよく使用される。(例)酒を飲むベー、学校へ行くベー
起きるな	おきるな	オキンナ	川崎市全体でよく使用される。(例)朝早いからまだオキンナ
高いなあ	たかいなあ	タケーナー	川崎市全体でよく使用される。(例)あいつは背がタケーナー
広いなあ	ひろいなあ	ヒレーナー	川崎市全体でよく使用される。「シレーナー」という場合も多い。
痒いなあ	かゆいなあ	カイナー	川崎市全体でよく使用される。

以上、18種類の方言を挙げてみました。全体的に川崎市全域に共通するものが多いようですが、中には南北で差があるものもあります。例えば麻生区では「黄色い(きいろい)」は「キロイ」が多数見られます。一方、南部の川崎・幸・中原区では「昨日(きのう)」は「キンノ」、「臍(へそ)」を「ヘソボ」と使う場合が多く、地域や区によって差があるものが見られます。それは何か理由があるものと考えられます。今回は最近の方言や、周辺地域のものとの比較もやってみたいと思います。

参考資料:「川崎市民俗文化財調査報告書～衣・食・住・方言～」1985、1988年

(文:板倉)

シリーズ

「麻生の歴史を探る」 第37話

法雲寺と笹子姫

小島 一也 (柿生郷土史料館相談役)

麻生区の高石に法雲寺と呼ぶ古刹があります(右写真)。法恩寺ともいう尼寺で、武蔵風土記稿には、臨濟宗菅村寿福寺の末寺と記され、「天正の水帳に宝音寺と言えるは当寺なり、高石寺と号す、開山譽心は天正十六年、開基加々美才兵衛は寛永六年没す……」として、江戸時代初期の創建としていますが、この寺には平安時代造立の「阿弥陀如来像(市重要歴史文化財)」(下写真)があり、この寺の創建、歴史に謎を残しています。



新百合ヶ丘駅北口、世田谷町田線との交

差点を北へ向かう道(現新百合山手大通り)を昔は笹子農道と呼び、その奥詰まった右手の丘にかつて「笹合稲荷」と称する小祠がありましたが、これについて次のような伝承があります。

治承元年(1177)後白河法皇の意を受けて、驕る平家打倒の運動がおこります。世にいう鹿ヶ谷の密議ですが、清盛はその首謀者を死罪、流罪、法皇を幽閉してしまい、身の危険を感じた法皇の第二皇女笹子姫は、従者4人と共に武蔵国都筑郡古沢荘に落ち延び、後に万福寺笹合稲荷の地に従者と隠棲しました。従者の姓は、田中・高橋・木下・鈴木と言われ、今でもその末裔とされる旧家が残されています。

この法雲寺の阿弥陀如来像は、寺伝によると笹子姫が東国に隠棲の際、父後白河法皇から授かった像といわれます。市文化財図鑑には高さ75.5cm、木造寄木造の座像で漆箔が施されており、その特徴は穏やかな表情で、平安時代中期京都に多かった「定朝様」と呼ぶ仏

像彫刻様式を伝え、市内に残る平安期の仏像の中で「最も都風を偲ぼせる仏像」、と紹介されています。

万福寺の地に落ち着いた笹子姫は、その消息を父後白河法皇に知らせたことでしょうか。法皇は娘の無事息災を願って日頃信仰の定朝様の仏像を遠く東国に送ったとしても不思議ではありません。そこで笹子姫は万福寺からほど近い高石の権現の森に堂宇を建て、その仏像を安置したのが現在の法雲寺とする逸話です。笹合稲荷の地は法雲寺の裏鬼門にあたり、そこには姫の従者の墓地があります。笹合稲荷のご神体は「キツネの上に乗る笹子姫像」で、毎年初午には明治の頃は里人が集まり、法雲寺の僧により供養が行われていたそうです。

後白河法皇の正史には笹子姫の名はありません。だがそれは朝廷や動乱の世のこと、笹子姫の存在を否定するものではありません。しかし都を遠く離れた都筑の山里に法皇の姫が？、と思うのも正直なところですが、それでは法雲寺のこの阿弥陀如来座像はだれが造立したのでしょうか。

この頃(保元元年 1156)この地は武蔵の武士団横山党古沢氏の根拠地だったと言われます。続いて前橋小山田氏の勢力下、小沢郷となるわけですが、ちょうどその頃、岡上東光院に兜跋毘沙門天立像が造立されています。これは作風から在地豪族や農民により造られたものと言われ、そうすると法雲寺の阿弥陀様も古沢氏か小山田氏によるものと考えたくなりますが、一方この頃この地は藤沢摂関家の領だったといわれ、朝廷の力は衰えても権威は衰えず、笹子姫はこれを頼ったかと勝手に推測され、何よりも定朝様という都の作風が笹子姫伝承にロマンを与え、法雲寺の阿弥陀如来像は謎を残していくのではないのでしょうか。

なお、務めを果たした笹合稲荷の祠堂は、現在新百合山手の大通り割烹ビル「笹合」に移され大切に保存されています(右写真)。



参考資料：「川崎市史」「川崎市文化財図鑑」「万福寺ふるさとの歩み」「生田郷土誌」

シリーズ 黒船来航

開国秘話 (3)

小林 基男(柿生郷土史料館専門委員)

◆ペリーはなぜ日本にやってきたのか◆

ここで米国側の事情を考えてみましょう。ペリーは何故1853年に日本にやってきたのでしょうか。

当時の大統領フィルモアがペリーに与えた指示書が残っています。そこには以下の3点が記されています。

- (1) 日本国沿岸で遭難したアメリカ船舶・乗員・財産の救助と保護
- (2) 日米両国の自由貿易
- (3) カリフォルニア～中国間の定期汽船航路の石炭供給基地(貯蔵庫)の確保

の3点です。確かにいずれも米国にとって重要だったのですが、どうして1853年の派遣だったのか。そしてペリー一行は、日本側に国書を渡すと、返事も待たずに帰路についてしまうのですが、それは何故だったのでしょうか。実は、ペリー一行の行動には、米国側の事情が働いていました。

1846年にアメリカはメキシコとの戦争を始めました。日本では米墨戦争と呼ばれます。ペリーはこのとき米艦隊の司令官でした。彼は、1837年に米海軍の最初の蒸気艦船フルトンII世号の艦長を務めて以来、蒸気海軍の父と称されており、蒸気船の増強を主張してきました。

そのペリーにとって、米墨戦争は絶好の機会を提供してくれました。彼は戦争に蒸気軍艦の増強が必要なことを説いて、予算化に成功します。ところが戦争は2年で米国の勝利に終わり、カリフォルニアやニューメキシコなどの領土獲得に成功します。

戦争のたびに軍備を拡大するけれども、終れば縮小して軍事予算の縮小をはかり、中央政府直属の軍隊は、小型で軽装備とするのが、当時のアメリカの常でした。皆さんは驚かれると思いますが、アメリカが常時大軍を擁する軍事大国と化すのは、第二次世界大戦以後のことなのです。

ですからこのままでは、蒸気軍艦の売却を議会から要求されかねないと、ペリーを含む海軍上層部は恐れました。その事態は何とか避けたい。こうしてペリーや海軍は、蒸気軍艦の配備先を探したのです。

米墨戦争の勝利で、カリフォルニアなど西海岸を領有したアメリカは、太平洋の彼方を展望できる時代に入りました。やがては太平洋航路が必要になる。イギリス由来の自由貿易も活発になるだろう。こうした理由を並べることで、ペリーは議会から、東インド艦隊に最先端の蒸気軍艦を配備する許可を取り付け、海軍の経費削減を回避することに成功したのです。

ペリーは、フィルモア大統領によって、東インド艦隊司令長官に任命され、海軍の作戦行動の一環として、日本と条約交渉を行なう指示を受けました。

これはかなりの困難が予想される任務でした。その原因は米国憲法の規定にありました。合衆国成立の事情により、連邦政府の権限には大きな制約があり、諸外国との交戦権(宣戦布告権)は大統領にはなく、議会上院が握っていたからです。

その議会の多数派は民主党であり、大統領フィルモアはウィッグ党(後に共和党に取って代われ、消滅します)に属していたため、議会の協力を得ることが難しかったのです。そのためペリーは、出港前に「発砲厳禁」という大統領命令を受け取っていました。ペリーは、日本で砲艦外交を展開できない制約を負っていたのです。この点が徳川幕府に好感をもたれることに繋がったのですから、歴史というものは皮肉ですね。

当時ペリーは58歳の高齢でした。その彼が、日本開国というペリー艦隊を日本に派遣したフィルモア大統領困難な任務を引き受けたのは、「地上で最も若い国が、世界でも古い国のひとつである日本の扉を開ける」ことへの自負心からでした。この点は、晩年の彼の言葉として、家族が書き残しています。

もう一つは、彼の趣味に関係します。ペリーは、玄人はだしの植物コレクターでした。長きに渡って鎖国体制を敷いてきた日本は、植物の交雑がそれだけ少なかったことになるので、きっとかなりの数の新しい品種や固有種を発見できるのではないかと、こちらの期待もペリーにとっては、大きかったのです。

ペリーが、アメリカ東海岸を日本に向けて出港したのは、1852年11月24日でした。出発港が東海岸ですから、彼は太平洋を西航したわけではありません。アメリカ西海岸を出航したペリー艦隊は、そのまま大西洋を南下し、アフリカ南端の喜望峰を回り、アフリカ東海岸を北上しました。遠い昔ヴァスコ・ダ・ガマの一行が、インドの目指した航路を、ほぼ忠実に辿ったのです。こうして彼は、一路広東を目指したのです。(続)



ペリー艦隊を日本に派遣したフィルモア大統領

麻生川流域の遺跡群が語る麻生の姿(1)

◆麻生川流域が発展した時代◆ 麻生川流域で多くの遺跡が発見された縄文遺跡は、弥生時代になると急激に少なくなります。やがて古墳時代後期(6~7世紀)から奈良時代(8世紀)、平安時代(9~12世紀)にかけて再び遺跡の数が増えてきます。

上麻生日光台遺跡では、縄文時代以降は7世紀中頃(大化の改新の頃)から10世紀前半にかけての住居跡が多く発見されています。住居跡の分布の様子を見ますと、当時の景観は家が点々と散在しており、同じ場所に住居が繰り返し造られていたことも分かっています。

◆『山口』と書かれた墨書土器が示すもの◆ 上麻生の日光台遺跡や上台遺跡・山口台遺跡で、8世紀半ば過ぎ(奈良時代中頃=東大寺大仏が建立された頃)と思われる『山口』と墨書された須恵器(朝鮮半島が源流で、約1000度以上の高温で焼かれた硬質の土器)が発見されました。これは同一の集団を表す標識として用いられたものと思われ、岡上から出土した『岡上』の墨書土器と同じように、『山口』も地名を表す可能性が高いものと思われます。となると、麻生区の山口(台)の地名は奈良時代中頃にはすでに登場していたこととなります。当時の社会は一体どんな様子だったのでしょうか。建物の姿をみると、日光台遺跡では当時の一般的竪穴式住居(地面を掘り下げ、そこを床にして柱を立て屋根を葺き下ろした住居)よりも、進んだ掘立柱建物(地面に柱穴を掘り、そこに柱を建てたもので、床板を地面から離して張ったり高床倉庫もある)が中心となっています。これは『山口』の地域をもとにした在地豪族などの有力農民が成長し、零細農民を配下にして、地域を支配するようになった富豪層の急速な台頭が考えられます。その住宅施設が日光台及びその周辺遺跡ではないかと考えられます。(参考資料:「上麻生日光台遺跡発掘調査報告書」) (文:板倉)



①上台②大ヶ谷戸◎日光台遺跡



墨書土器『山口』

上麻生の日光台遺跡や上台遺跡・山口台遺跡で、8世紀半ば過ぎ(奈良時代中頃=東大寺大仏が建立された頃)と思われる『山口』と墨書された須恵器(朝鮮半島が源流で、約1000度以上の高温で焼かれた硬質の土器)が発見されました。これは同一の集団を表す標識として用いられたものと思われ、岡上から出土した『岡上』の墨書土器と同じように、『山口』も地名を表す可能性が高いものと思われます。となると、麻生区の山口(台)の地名は奈良時代中頃にはすでに登場していたこととなります。当時の社会は一体どんな様子だったのでしょうか。建物の姿をみると、日光台遺跡では当時の一般的竪穴式住居(地面を掘り下げ、そこを床にして柱を立て屋根を葺き下ろした住居)よりも、進んだ掘立柱建物(地面に柱穴を掘り、そこに柱を建てたもので、床板を地面から離して張ったり高床倉庫もある)が中心となっています。これは『山口』の地域をもとにした在地豪族などの有力農民が成長し、零細農民を配下にして、地域を支配するようになった富豪層の急速な台頭が考えられます。その住宅施設が日光台及びその周辺遺跡ではないかと考えられます。(参考資料:「上麻生日光台遺跡発掘調査報告書」) (文:板倉)

柿生郷土史料館開館日のご案内

◎開館日:偶数月は土曜日、奇数月は日曜日

12月 7・14・21日(毎土曜日) 注:12月28日は休館 **1月** 5・12・19・26日(毎日曜日)

◎開館時間:午前10時~午後3時

柿生郷土史料館12~1月の催物ご案内

平成25年度第2回 ジュニア・カルチャー・セミナー

地域の方々と竹細工を作ろう(2)

・集まれ小・中学生、大人も大歓迎!

・前回の参加者は別作品にもチャレンジ

◎日時:平成26年1月19日(日) 午前10時より(所要時間約2時間)

◎会場:柿生郷土史料館特別展示室

◎内容:竹トンボ・風車・竹笛 ほか

◎その他:参加費は無料です。事前予約も要りません。なお持参いただく物は特にありません。

ご好評にお応え
して再度開催!

柿生郷土史料館の活動にご支援いただいている法人をご紹介します

☆☆☆柿生郷土史料館友の会法人会員(11月10日現在)☆☆☆

- 月読神社 ●琴平神社 ●王禅寺 ●常安寺 ●浄慶寺 ●麻生総合病院 ●アルナ園 ●柿の実幼稚園
- 柿生恒産 ●虹の里養護施設 ●フィッシュ・オン王禅寺 ●たま日吉台病院 ●川崎信用金庫柿生支店
- 大平屋 ●カジノヤ ●志田電子製作所 ●朝日ホーム ●柿生保育園 ●山義産業 ●観財 ●奈良工業
- JAセレサ川崎 ●栄和 ●麻生自動車 ●ゲオホールディングス ●リック設計企画 ●レストヴィア王禅寺
- 粕谷住宅資材 ●青戸建材店 ●スズユウ商事 ●広東商事 ●ノジマNEW鶴川店 ●石野電気柿生店
- プライマリー ●尾作住宅 ●尾作材木店 ●北島工務店 ●ティーエムコーポレーション ●丸和企画印刷
- とん鈴 ●ガスト柿生店 ●小料理わかば ●レストランベル ●カラオケゆう ●リフォームイケダ ●志村建設
- 松屋 ●荒川電気工事 ●花島商事 ●孝友商事 ●誠和産業 ●三共エステート●神奈川トヨタ自動車
- ゆりストア王禅寺店 ●美容院ルシル ●サイトー農芸 ●菊川園 ●フラワーショップまきば ●栄運輸
- ささらプロダクション ●和光大学

計61法人(順不同・敬称略)